学校番号	3023

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説世界史」　（山川出版社）						
副教材等	「アカデミア世界史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象の原因や結果に「なぜ」という視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。
・歴史用語をただ暗記するのではなく、そのストーリーや背景、理論に触れることにより、歴史の面白さや奥深さを感じ、歴史に興味を持つ。

2　学習の到達目標

＜知識及び技能＞
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
＜思考力、判断力、表現力等＞
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
＜学びに向かう力、人間性等＞
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識及び技能	b:思考力、判断力、表現力等	c: 学びに向かう力、人間性等
観点の趣旨	原始・古代・中世を中心とする世界と日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象についての知識を身につけ、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができている。	歴史的事象から意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文明の成立と古代文明の特質	・文明の誕生 ・古代オリエント文明とその周辺 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・南北アメリカ文明文化の始まり ・農耕社会の成立	a：自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生とその特色について理解する。 b：各文明の風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c：古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート ワークシート
	中央ユーラシアと東アジア世界	・草原とオアシスの世界 ・秦・漢帝国 ・中国の動乱と変容 ・東アジア文化圏の形成	a：秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。 b:草原の遊牧民や彼らの交易のルートなどに関して多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：中央ユーラシアと東アジア世界の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	ワークシート 提出ノート

2学期	南アジア世界と東南アジア世界の展開	・仏教の成立と南アジアの統一国家 ・インド古典文化とヒンドゥー教の定着 ・東南アジア世界の形成と展開	a:インドで生まれたさまざまな宗教が周辺諸地域へ与えた影響や東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。 b:東南アジアで設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 c:南アジアや東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート ワークシート
	西アジアと地中海周辺の国家形成	・イラン諸国家の興亡とイラン文明 ・ギリシア人の都市国家 ・ローマと地中海支配 ・キリスト教の成立と発展	a:アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。 アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 b:なぜローマが広大な領域を支配できたのか、古代ギリシア世界がどうように発展したか、について多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:イラン文明や地中海周辺国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート ワークシート

3学期	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	・アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ・ヨーロッパ世界の形成	a:イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 b:他の宗教とイスラームの違いやその対立について多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c:イスラーム教の成立と拡大・ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	ワークシート 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識及び技能　b:思考力、判断力、表現力等　c:学びに向かう力、人間性等